

「協育」見本市<2014年(H26年)>

第7回 地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会

近年、青少年を取り巻く様々な課題や団塊世代・高齢者の地域参加の促進等が指摘されているところであり、学校や家庭、地域における様々な取り組みの連携・協力の必要性が言われています。こうした現状の中、県内各地で各種団体等の独自の取り組み、地域が学校と連携した取り組みなどが行われています。

本交流会は、こうした県内各地の実践者が自主的に集い、実践事例を交流することによって大人自身の活動エネルギーを蓄えるために、大分県生涯教育学会や、福岡県を中心に活動する「NPO法人幼老共生まちづくり支援協会」などの協力をいただき、さらに、地元教育委員会・生涯学習団体等と協力して開催するものです。多くの方々の参加をいただき事例を基にして地域づくりを熱く語りましょう。

運営委員長 林 浩昭(東国東地域デザイン会議会長)

テーマ 「大いに語ろう～大人がする子ども育て、そして、子どもが活躍するまちづくり～」

主催 東国東地域デザイン会議 大分大学高等教育開発センター
協力 NPO法人幼老共生まちづくり支援協会
NPO法人大分県「協育」アドバイザーネット
大分県「協育」ネットワーク協議会 大分県生涯教育学会
会場 「梅園の里」 〒873-0355 国東市安岐町富清 2244 Tel0978-64-6300
期 日 平成26年3月1日(土)～2日(日)

日程(予定)

一日目	10:30 開会行事 10:50～ 基調提案 「『世界農業遺産』の意義と子ども達へ継承する大人の役割」 講師 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会長 (東国東地域デザイン会議会長) 林 浩 昭 氏 基調報告 :今求められる「地域ネットワーク」の取り組み 講師 交渉中 12:50～ 実践事例発表 ○第1分科会 学校教育等への地域・家庭からの支援・協力の事例(5事例) ○第2分科会 学校を中心とした読み聞かせ活動の事例(5事例) 16:30～17:10 特別講演 演題 「教育がつくりだす心の危機」(仮) 講師 三浦清一郎 氏(生涯学習・社会システム研究者) 17:40～情報交換会(みなさんの活動状況を交換しましょう)
二日目	9:30～11:50 大いに語ろう! ～読み聞かせ・学校支援活動等のグループに分かれて交流会～ テーマ「子どもたちの未来のために活動する成果と課題」 (※ファシリテーターの進行でテーマに関する日頃の活動を班別に意見を自由に交換します) 12:00 閉会行事

会場 ☆梅が咲き誇る三浦梅園生誕の地～「梅園の里」～☆(HP:<http://www.oct-net.ne.jp/~infbaien>)

参加費 無料(500円資料代等実費)※宿泊費等は別途必要です。

申込方法 ○別途「参加申込書」での詳細な参加内容を申し込み願います。

○平成26年2月19日(水)までに申し込み下さい。※当日参加も受け付けます。

広報 HP:「大分大学高等教育開発センター」又は「大分県『協育』ポータル」を参照ください。

※手弁当で、地域の皆さんの活動を交流する機会です。夜の交流会で「物産見本市」を行いますので、地域の特産品などを当日お持ちいただき、寄付して頂ければ幸いです。これまでも本交流会の運営費として活用させていただいています。

問い合わせ・申し込み先

○東国東地域デザイン会議事務局・富永六男
TEL 0978-65-0396
FAX 0978-65-0399
住所:〒873-0355 国東市安岐町糸永2323
○大分大学高等教育開発センター・中川忠宣
TEL/FAX 097-554-6027
(教育支援課) TEL/554-7641 FAX/554-7445
住所:〒870-1192 大分市旦野原700番地

「協育」見本市

第7回「地域発『活力・発展・安心デザイン』実践交流会」

参加申込書

○必要事項に記入及び○をして、事務局へFAX又は郵送願います

申し込み日（ 月 日） 申込代表者（ ）				
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）	
1日目			2日目	
研修会	昼食	情報交換会	宿泊（朝食含む）	研修会
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）	
1日目			2日目	
研修会	昼食	情報交換会	宿泊（朝食含む）	研修会
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）	
1日目			2日目	
研修会	昼食	情報交換会	宿泊（朝食含む）	研修会
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）	
1日目			2日目	
研修会	昼食	情報交換会	宿泊（朝食含む）	研修会

※必要経費内訳（予定）

金額：資料代（500円）

・情報交換会（3,000円）

・宿泊（朝食含む）（5,000円） ・昼食（600円）

【参考】「地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会」実施要綱

1 趣旨

行財政改革の中で、平成の大合併が一応終結したが、このことによる地域の活性化の取り組みにもさまざまな課題が浮き彫りになり、今まさに、地域づくりは「官から民へ」の時代となった。

そこで、「民」という立場でアイデアを発揮し、ネットワークを築き、素晴らしい「デザイン」を描きながら取り組んでいる県内の個人・団体・グループの活動情報を共有し、新たに「我がまちづくり」に生かしていくエネルギーを高めていくために実践交流会を開催する。

2 言葉の意味

「地域発」：県内 18 市町村のいろんな地域から活動情報を発信する交流会とする。

「活力」：参加者が活力を貰う交流会とする。

「発展」：「次世代を担う子どもたちの育成による地域の発展」をテーマとする。

「安心」：テーマ実現により、子どもや高齢者の安全・安心、地域産業等の発展による安心な地域づくり等を目指した交流会とする。

「デザイン」：新しい発想、地域の個性・独自性等がデザインされた交流会とする。

「実践」：実践していることの交流会とする。

3 対象

(1) 大分県内の地域活動をする個人・団体・グループ及び行政・学校関係者等、趣旨に賛同する幅広い人たちを対象とする。

(2) 趣旨に賛同する県外の関係者の参加も歓迎する。

4 主催 東国東地域デザイン会議 大分大学高等教育開発センター

5 主管 「地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会」運営委員会

6 組織

(1) 運営委員会を組織し、運営委員と実行委員を置く。

(2) 運営委員会の中に事務局を置き、大会の運営を行う。

(3) 県内に実行委員を置き、県内の実践事例を収集する。

※趣旨に賛同する県外者を特派員とすることができることとする。

7 内容

(1) 大分県内の個人・団体・グループ及び行政、学校等の取り組みの活動発表と、研究・協議をメインとする。

(2) 先進的な実践事例等の事例発表・基調講演（提案）を行う。

(3) 交流会の成果を広く広報する。

8 会場

「梅園の里」（国東市安岐町富清 2244 TEL0978-64-6300）

9 期 日・日 程

(1) 毎年、2月最終土・日曜日又は3月第1土・日曜日に実施する。

(2) 次の内容を基本とする。

①全体会 ②事例発表 ③特別講演 ④基調講演 ⑤研究協議 ⑥交流・懇親会

10 経費

(1) 依頼した講師を除き、発表者及び運営関係者等への謝礼、旅費等は大会から負担をしない。

(2) 必要経費は、参加費、協賛金（品）、補助金、その他を以て充てる。